

未来を担う若者が堂々と質問を



鋭い質問を壇上から



答弁を熱心に聴く

中学生に議会の役割や仕組みを学んでもらい、市政に対する関心を深めてもらうと「中学生議会」が8月21日に市議会議場で開催されました。市内11中学校から代表23人が出席。議長役の生徒の議事進行により、地域の身近な問題からまちづくりに関する意見まで、中学生の視点からさまざまな質問が出されました。今回は、各議員の主な質問とそれに対する答弁の一部を紹介します。

市中心部以外の 開発計画について

下総みどり学園

市の中心部から遠い地区で、商業施設の誘致などの計画は現段階でありますか。また、今後計画していきますか。

〔市長〕商業施設については民間事業者が、商圏人口や周辺の商業施設の立地状況などを考慮し、入念な用地選定を行い、開発計画を進めるものですが、市の中心部から遠い地区については、これらの要件を満たさないことから、現在具体的な開発計画はありません。市においては、空港の更なる機能強化が進展するとともに、北千葉道路や、圏央

道といった広域的な交通ネットワークの整備が進められています。こうした、ほかの地域にはない市ならではの特性を、市の持続的な発展につなげていくため、さまざまな企業誘致や新たなまちづくりの推進により活気が市の隅々まで届くような施策を進めていきたいと考えます。

国際理解を促進する 取り組みについて

遠山中学校

市の拡充英語の取り組みによりほかの市町村と比べ、どの程度の英語力の向上が見られていますか。

〔教育長〕拡充英語科の取り組みを進めることで、昨年度の成田市学力調査では、英語科の平均

正答率は、中学1年生で全国が54・3パーセントに対し、市は55・3パーセント、中学2年生で全国が50・1パーセントに対し、市は53・5パーセントであり、どちらの学年も全国平均を上回っています。

将来の教育について

久住中学校

将来、人口が減少した地域にある公民館などの公共施設の活用やあり方はどのように考えていますか。

〔市長〕立地する地域の状況のほか、建物の老朽化、利用の状況、運営コストなどを適切に把握することが必要であると考えていて、総合的に分析した上で、施

設の継続について検討し、見直すべきとした公共施設については、ほかの用途への変更や民間事業者による利用などを含めた方向性を判断していきます。

【教育長】 公民館については、利用状況などを踏まえながら施設の改修を実施するとともに、更新などを行う際には、近隣の公共施設との機能の集約化や複合化を図るなど、施設の利用拡大が図れるよう検討していきます。

耕作放棄地について

成田中学校

市は耕作放棄地を解消するために、どのような活動を実施し、検討していますか。

【市長】 市では、昨年度から「地域計画」の策定に着手しています。この地域計画では、農地ごとにおおむね10年後の耕作者を定め、将来の農地利用の姿を明確化した「目標地図」を作成し、耕作者への農地の集積、集約化などを進め、耕作放棄地の発生防止や解消に努めることとしています。また、地域ぐるみで農地や農業用地での適切な保全管理を行う共同活動に対し、補助金の交付による支援を行い、それぞれの地区の農地の保全管理

に努めています。

交通施策について

西中学校

運転士不足を原因として、交通バスの減便や廃線が相次いでいますが、「NARITAみらいプラン」における「魅力ある機能的なまちづくり」の達成に向けた取り組みについて、どのように考えていますか。

【市長】 既存の公共交通サービスであるコミュニティバスや民間路線バス、高齢者の外出支援として運行している、タクシー車両を利用した乗り合い型交通サービスであるオンデマンド交通の持続可能な運行を図ることを基本としつつ、地域の課題やニーズを踏まえ、交通事業者をはじめとする関係機関との協議を進めていきます。さらに、自動運転などの新技術や、一般のドライバーが自家用車で乗客を有料で運ぶサービス、いわゆるライドシェアなどの新しい移動手段のほか、情報や通信に関する技術、いわゆるICTを活用した新たなサービス導入の可能性も視野に入れ、公共交通のあり方や、サービスの提供方法などについて検討していきます。

観光施策について

吾妻中学校

「NARITAみらいプラン」に、成田空港の立地を生かしたトランジットツアーの実施とありますが、観光客に長い滞在時間を有効活用し、「みんなの成田」の良いところを知ってもらうためにどのようなプランを考えていますか。

【市長】 海外に向けたフェイスブックなどのSNSを活用した情報発信や、ボランティアガイド向けのメールマガジンの配信、セミナーの実施のほか、新たに航空会社のクルーを対象とした自然・文化・飲食の体験ツアーを検討しています。また、千葉県で唯一日本遺産に認定されている「北総四都市江戸紀行」の構成要素の一つである「成田山門前の町並み」などの観光資源を活用し、滞在時間の延伸に向けた取り組みを推進しているところです。

防犯・安全対策について

中台中学校

生徒の登下校中の交通事故防止について、市はどのような取り組みをしていますか。

【教育長】 成田市通学路交通安全

プログラムを策定し、毎年危険箇所の調査を行っています。PTAや地域住民、交通管理者や道路管理者などの関係機関が現地で危険箇所の確認を行う通学路合同点検を実施し、実態把握に努め、成田市通学路安全推進連絡協議会では、関係機関や成田市PTA連絡協議会、成田市校長会とともに安全対策につ

いて協議し、各学校での交通安全指導に役立てています。昨年度は各機関に対して横断歩道の設置や注意喚起の路面標示、看板の設置、除草や樹木の伐採などを働きかけるとともに、以前から要望が上がっている箇所に ついては、関係機関と情報を共有し、危険箇所の改善に努めています。



出席した中学生議員(敬称略)

下総みどり学園…松居 大地、根本 莉里
遠山中学校…森田 奏、森元 望
久住中学校…大徳 純也、檜垣 侑花
成田中学校…大竹 茜音、大塚 明里、
大木 颯士
西中学校…千葉 愛玲奈、下田 悠真
吾妻中学校…君島 幸晟、長岡 綾汰

中台中学校…沼田 悠叶、佐藤 沙奏
公津の杜中学校…辻 宇心、山本 晃史
大栄みらい学園…椿 壮馬、長竹 将大
成田高校付属中学校
…笠島 唯仁香、寺崎 鈴華、河野 蒼央
玉造中学校…勝田 智稀

持続可能で地球環境に
優しいまちづくりについて

公津の杜中学校

二酸化炭素排出によるさまざまな問題の発生を防止するために、市ではどのような取り組みをしていますか。

【市長】2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すゼロカーボンシティ宣言を令和2年に表明いたしました。これまでの主な取り組みとして、太陽光発電システムやリチウムイオン蓄電池、電気自動車などの住

宅用省エネルギー設備に対する補助を実施し、本年度は、集合住宅用の電気自動車充電設備を新たに補助対象設備に加え、市内における脱炭素化の取り組みを進めています。また、照明のLED化などによる省エネルギーと太陽光発電などにより作り出したエネルギーを組み合わせ、建物における実質エネルギー消費ゼロを視野に入れながら公共施設の整備を進めるほか、市で使用する自動車を新しくする際には、原則、電気自動車などの環境に配慮した車を導入す

スポーツをする機会の提供について

大栄みらい学園

スポーツができる公園などを設置することにより、子どもたちが集まり、大栄地区の魅力も感じ、高齢者の健康増進にも寄与すると考えますが、市はどのように考えていますか。

【市長】現在のところ、大栄地区にスポーツができる公園などの設置や既存の施設を改修する計

画はありませんが、グリーンウォーターパークでは、敷地を拡張し、整備を進めていることから、その中で、気軽に運動が楽しめる施設の設置についても検討していきます。また、市では、より身近な公園でボール遊びがしたいという子どもたちのニーズを受け、本年2月から、一部の公園において「もっとボール遊びができる公園」事業を試験的に開始しました。大栄地区でも、大栄公民館に隣接する「ふれあいの丘街区公園」において、本事業の実施を検討しています。

市長講評



質問に答える小泉市長

中学生議員の皆さんからの質問は、まちづくりへの提言や、本市ならではのトランジットツアーや外国人観光客、拡充英語の取り組みに関する質問など、さまざまな視点からの的確な質問でした。また、堂々と質問・発言している姿は大変立派で、とても感心しました。皆さんが本市の未来について、一生懸命に考えているという熱意が伝わり、大変うれしく、同時に心強く思いました。

皆さんからいただいた貴重な質問や提言は、今後、私のモットーであります「住んでよし 働いてよし 訪れてよしの生涯を完結できる空の港まちなりた」の実現に向けて大いに反映をさせていただき、また、今後の本市の発展のために役立ててまいりたいと思います。そして、本市がより住みやすくなるよう、皆さんと一緒に考えていければ、大変うれしく思います。

観光による魅力的な
まちづくりについて

成田高校付属中学校

オーバーツーリズムについて、市の現状と対策について教えてください。

【市長】市では、観光需要の急速な回復に伴い、外国人観光客は増加しているものの、現状において、オーバーツーリズムが発生している状況ではないと認識をしています。その上で、オーバーツーリズムを未然に防ぐため、成田観光館において外国人観光客向けのマナー啓発動画を

放映するほか、宿泊事業者など観光関連事業者と連携しながら日本のマナーや文化についての理解を促すための取り組みを進めています。

防災対策について

玉造中学校

災害発生時に迅速に対応するための対策について、聞かせてください。

【市長】市では、電線や道路などの周辺において、地権者の同意を得ながら樹木を伐採し、倒木を原因とする停電の未然防止に努めています。また、迅速な電力復旧が行われるよう、東京電力パワーグリッド株式会社と協定を締結し、障害物の除去などに関する相互協力、情報共有、電源車の配備などについて、体制整備を進めています。道路冠水や洪水などへの対策として、建設業者と年間委託契約を締結しているほか、市内の建設業者で構成する成田市建設業災害対策協定会と協定を締結して、災害発生時の迅速な道路の復旧や安全確保が図れる体制づくりに努めています。

※くわしくは市民協働課市民相談室(☎20・1507)へ。